

**このガイダンス資料では、一般系やコースの説明、
専門科目・選択科目の内容を載せています。
よく読んで、自分の目指す進路を考えていきましょう。**

■ 教育課程編成方針・・・生徒一人ひとりに寄り添い、大学進学を中心とした多様な進路希望に応えます。

- 1年次・・・全員共通履修で、基礎学力の充実を図ります。
- 2年次・・・2つの専門コースと一般系に分かれ、希望進路に応じた学習を展開します。
- 3年次・・・進路希望に応じた選択科目を設定し、学力を向上させ、希望進路の実現をめざします。

■ 教育課程のイメージ

平成 29 年度入学生 教育課程予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	国語総合				現社	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語表現Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	総合	HR	(同じ科目は2回選択できない)													
2年一般文系	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅱ	古典B	地理A or 日本史B	芸術Ⅱ	選択	選択	総合	HR	①現代文演習 ②数学Ⅱ増単位 ③数学B(数学Ⅱ増単位を履修していること) ④英語総合演習															
2年一般理系	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅱ	数学B	数学Ⅱ増単位	物理基礎	化学	総合	HR																	
2年人文探究コース	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	★専門総合英語(3)	★専門英語理解(2)	古典B	数学Ⅱ増単位	英語総合演習	日本史B	選択	総合	HR																
2年子ども保育コース	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅱ	古典B	★専門子どもの発達と保育(3)(夏期あり)	★専門幼児体育(2)	★専門ソルフェージュ(2)	選択	総合	HR																
3年一般文系	現代文B	体育	政治・経済	古典B or 古典講義	地学基礎	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	日本史B or 地理B	選択	選択	選択	選択	総合	HR	①国語読解力演習 ②日本史演習(日本史Bを履修していること) ③現社探究 ④数学B(数学Ⅱ増単位を履修していること) ⑤数学演習α ⑥教養数学 ⑦英語読解演習 ⑧ライフスポーツ ⑨芸術Ⅲ ⑩情報の科学																
3年一般理系	現代文B	体育	地理A	数学演習β	化学	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	生物or物理	数学Ⅲ			数学Ⅲ演習	総合	HR																	
	現代文B	体育	地理A	数学演習α or 数学演習β	化学	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	生物or物理	国語読解力演習	現社探究	英語読解演習	理科演習	総合	HR																	
3年人文探究コース	現代文B	体育	政治・経済	古典B	地学基礎	★専門総合英語(4)	★専門英語理解(2)	日本史B	★専門日本史探究(2)	★専門古典演習(2)	選択	選択	総合	HR																	
3年子ども保育コース	現代文B	体育	地理A	政治・経済	地学基礎	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	★専門子どもの発達と保育(2)	★専門保育実習(2)	★専門文章表現演習(2)	★専門幼児音楽(2)	選択	選択	総合	HR																

- ・第1学年では、芸術の選択科目以外は、全員が同じ教科・科目を学びます。
- ・第2学年からは希望者はコースを選択することができます。
- ・本冊子では、Ⅰで全体の概略を載せています。Ⅱで一般系に進む（コースに入らない）ときの選択科目等の説明や、コースに入るときの専門科目や選択科目の説明を載せています。
- ・一般系・コースの内容や選択科目の詳しい説明などは、各教科の先生の話をしっかり聞いてください。場合によっては選択できなくなる科目もあります。
- ・卒業後の希望の進路を実現するために何を学ばなければならないのか、自分に何が必要なかをよく考えることが大切ですが、保護者や先生方ともよく相談をしましょう。自分の夢の実現に向けて、日々の授業を大切にしながら踏み出しましょう。

【今年度の一般系・コースガイダンスの予定】

5月20日（土）	保護者向けガイダンス（一般系・コースの概要）
5月25日（木） 5限	第1回ガイダンス（一般系・コースの概要）
6月の保護者懇談週間	一般系・コース及び選択科目の選択について相談
6月下旬	第2回ガイダンス（コース選択希望者対象）
6月下旬	第1回調査 (一般系・コースと2年次の選択科目の希望調査)
11月上旬	第2回本調査 (一般系・コースと2年次の選択科目の希望調査)

I 一般系とコースの概略

このページでは、一般系とコースの説明・目標を載せています。比べてみてください。

一般文系

- 国語、社会、英語に対する興味・関心を深め、読解力、論理的思考力を高めるとともに、豊かな創造的能力を育む。
- 文系進学(四年制、短大)・専門学校・就職・公務員受験に対応するため、2・3年次に選択科目を設置し、生徒の多様な進路希望の実現をめざします。

[国語]

- まず、自分の力で文章を読むことに徹底的に取り組む。その上で文章の内容理解、背後に広がる世界について主体的に考察する能力を養う。
- 文学や歴史に広くふれ、それぞれの時代の人々の生き方や在り方を学ぶ。
- 一年次で「国語総合」、二年、三年次では「現代文B」を必修科目として学ぶ。

[社会]

- 日本及び世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について学ぶ。
- 図や史料などを分析する力や歴史的事実を考察する力を身に付ける。

一般理系

- 数学や理科に対する興味・関心を深め、科学的な洞察力や数学的な思考力を高めるとともに、豊かな創造的能力を育む。
- 数学や理科の幅広い分野にわたって深く学習するとともに、問題演習にも多くの時間を取り、科学的な思考力と問題解決能力を高める。
- 演習や観察、実験等を通して、物事を科学的にとらえ、分析する能力を育成する。
- 理学・工学・医学・薬学・農学や、情報工学系の大学への進学をめざす生徒の力を伸ばす。
- 管理栄養士、医療・看護系への進学をめざす生徒の力を伸ばす。
- 数学・理科が好きで真剣に学びたいと考えている生徒の力を伸ばす。
- 数学・理科に重点をおいて学習する系列なので、進学するうえで、どのような教科・科目を学ぶ必要があるのか事前にきちんと調べておくこと。

人文探究コース

- より高い進路目標を設定することで、自己の能力を引き出すとともに学びの幅を広げる。
- 国語・英語・社会（地歴）の授業において、より発展的な学習をし、応用する力を養成する。
- 問題演習を通して、問題を解決する力や、物事に関する洞察力を深めていく。
- 難関私立大学や国公立大学への進学を実現できるよう、学習の機会を広げ、実力を養成する。

子ども保育コース

将来、保育士や幼稚園教諭になることをめざし、幼児教育や音楽、体育に関する実技や校外での実習に加えて、基礎学力の向上を図る学習を通して、保育に関する基礎的な知識・技能・心構えを育成する。

夏休み等の長期休業を利用した実習(必修)、地域の保育園や幼稚園等との交流会などの体験的な学習を通して人と人との接し方を学ぶとともに、親の役割や、地域および社会の果たす役割について理解を深める。

次ページに一般系・コースにおける専門科目・選択科目等の説明があります。

Ⅱ 一般系とコースの科目説明

①一般文系

○一般文系で学ぶ選択科目に関して

[国語]

2年

・古典B（3単位）

古文や漢文に用いられる語句の意味、用法及び文の構造について学習する。また、文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉える。辞書・便覧を活用し、音読・暗唱を通して、古典を学ぶ楽しさを体験する。

3年

・古典B（2単位）

2年次に学んだ古典の内容をさらに深め、多様な古典を読むことにより、古典文学の世界に親しみ、日本文化の理解を深める。

・古典講読（2単位）

1・2年で学んだ古典の学習をさらに深めていく。様々なジャンルの作品に数多く接することにより、読解力を養い、入試にも対応できる力をつける。

[社会]

2年

・日本史B（2単位）

近現代の日本を歴史的背景や地域的特色をふまえて把握し、国際社会の中で日本が近代化を進めていった理由やそれによってどのような影響があったのかを理解する。

・地理A（2単位）

現代世界の地理的な諸課題を地域性をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3年

・日本史B（4単位）

(甲)

原始から中世までの日本について、歴史的背景と地域的特色を理解する。政治史を中心に、日本の始まりから国家の成立と発展を概観し、日本史B（乙）の範囲につなげる。

(乙)

近世を経て、近代に至る日本の歩みについて、政治史を中心に概観することにより、現代の日本を理解する。世界の動きを取り入れつつ、その歴史的意味と地域的特色等を理解する。

・地理B（4単位）

地理Aでは詳しく触れられなかった現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識や地理的な見方や考え方をより深め、グローバル的な視野を持ち、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

[選択]（すべて2単位）

2年

・現代文演習

現代文の演習を通して、基礎的な語彙力・読解力を養成する。漢字の読み・慣用表現・ことわざ・故事成語などについて理解を深める。また、意見文・感想文などを書く力をつける。

・数学Ⅱ（増単位）

複素数と方程式、直線・円の方程式、三角関数、指数関数、対数関数など、数学の様々な基本的分野について学習する。この科目を選択することにより、必修の数学Ⅱ（3単位）と合わせて、数学Ⅱの全内容を学習することができる。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

・数学B（数学Ⅱの履修が必要）

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

- **英語総合演習**

英語の4技能（読む、書く、聞く、話す）のスキルを総合的に向上させる。

3年

- **国語読解力演習**

近代以降、現代に至るまでの多様な評論、小説等の文章を取り上げ、深く鑑賞し、読解力と論理的な思考力を養う。現代社会についての理解を深める。

- **日本史演習（2年次に日本史Bを履修していること）**

明治以降の日本について、歴史的背景と地域的特色の理解をめざす。政治史を中心に近代国家成立以降、日本が国際社会の中で孤立していく過程と戦後の民主化の歴史を理解する。

- **現社探究**

現代の社会において問題となっている社会的事象について、政治・経済・文化・歴史など多面的に分析し考察できる能力を養う。また、小論文などを通して、自らの考え方をまとめ発表したり、演習などでしっかりとした基礎知識の定着を図る。

- **数学B（数学Ⅱの履修が必要）**

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

- **数学演習 α**

問題演習を通じて、「数学Ⅰ」「数学A」の学習内容を基礎から確認し、定着を図り、さらに標準的な問題を確実に解ける力を身につける。看護系、工業系の専門学校に進む者、文系で数学Ⅰ・数学Aを受験科目とする者は選択することが望ましい。

- **教養数学**

推論、確率、資料の読み取り、割合、整数の問題など、社会人として備えるべき数学的な教養を身につける。就職試験において数学が必要である者は選択することが望ましい。

• 英語読解演習

演習問題を中心に、長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に文法的に注意すべき点、構造に注意すべき点、慣用的な表現に注意すべき点等を整理しながら、読解能力を育成する。

• ライフスポーツ

誰もが親しめるスポーツやニュースポーツを取り上げ、仲間とともに課題を見つけ解決していく力を身につける。さらに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を養う。男女共修、一般体育と合わせて連続になる場合もあるが、積極的に取り組むことが必要である。

• 芸術Ⅲ

1, 2年で学んだ芸術ⅠⅡをさらに深めて学び、将来にわたって芸術に触れ、楽しみ、表現することを目標とする。それぞれ、1, 2年で音楽ⅠⅡを学んだ人のみが音楽Ⅲを、美術ⅠⅡを学んだ人のみが美術Ⅲを、書道ⅠⅡを学んだ人のみが書道Ⅲを選択することができる。美術・書道は教材費として1,000～3,000円程度必要。

• 情報の科学

1学期は『文書デザイン検定』、2学期は『情報処理技能検定(表計算)』の各1級を目標とし授業を進めていく。全員受験することを義務付ける。検定受験料は4月第1回目の授業時に4,800円を徴収する。3学期はクラスの前で発表をするプレゼンテーションを実施する。毎時間、実習を積み重ねていくので欠席が多かったり、入力が遅かったりするとついていけなくなり、単位不認定となる恐れがあるので留意すること。



Ⅱ 一般系とコースの科目説明

②一般理系

○一般理系でのみ学ぶ科目や選択科目に関して

[数学]

2年

・数学Ⅱ 5単位（理系必修）

数学Ⅰに続き、複素数と方程式、直線・円の方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分・積分など、数学の様々な基本的分野について学習する。

・数学B 3単位（理系必修）

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。

3年

・数学Ⅲ 6単位（選択）

複素数を平面上の点で表して図形の問題に応用することや、 x 、 y の2次式で表される曲線の性質、様々な関数の微分・積分とその応用などについて学習する。

・数学Ⅲ演習 2単位（選択）

問題演習を通じて、数学Ⅲの内容の理解をより深めるとともに、総合的な問題解法のパワーを身につける。

・数学演習 α 2単位（選択）

問題演習を通じて、「数学Ⅰ」「数学A」の学習内容を基礎から確認し、定着を図り、さらに標準的な問題を確実に解ける力を身につける。看護系、工業系の専門学校に進む者、文系で数学Ⅰ・数学Aを受験科目とする者は選択することが望ましい。

・数学演習 β 2単位（必修または選択）

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの学習内容を確認し、総合的な問題解法のパワーを身につける。

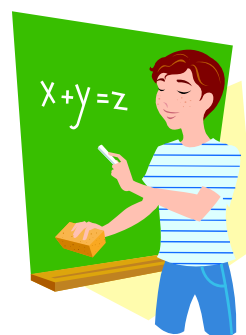
[理科]

2年

- 物理基礎 3単位 (理系必修)
運動やエネルギーなど、物理の基礎的な内容を学習する。
- 生物基礎 2単位 (全員必修)
生物の基礎的な内容を学習する。
- 化学 5単位 (2,3年次) (理系必修)
1年次必修の「化学基礎」をもとに発展的な学習を行う。

3年

- 生物 4単位 (選択)
「生物基礎」をもとに発展的な学習を行う。
- 物理 4単位 (選択)
「物理基礎」をもとに発展的な学習を行う。
- 理科演習 2単位 (選択)
生物分野を中心に演習を行う。



[選択] (すべて2単位)

2年

一般理系はありません。

3年

数学Ⅲを選択しない者は、以下の選択科目を選びます。

- 国語読解力演習
近年以降、現代に至るまでの多用な評論、小説等の文章を取り上げ、深く鑑賞し、読解力と論理的な思考力を養う。現代社会についての理解を深める。

- **現社探究**

現代の社会において問題となっている社会的事象について、政治・経済・文化・歴史など多面的に分析し考察できる能力を養う。また、小論文などを通して、自らの考え方をまとめ発表したり、演習などでしっかりとした基礎知識の定着を図る。

- **英語読解演習**

演習問題を中心に、長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に文法的に注意すべき点、構造に注意すべき点、慣用的な表現に注意すべき点等を整理しながら、読解能力を育成する。



Ⅱ 一般系とコースの科目説明

③人文探究コース

○人文探究コースで学ぶ専門科目等に関して

[国語]

3年

- ・古典演習（2単位）「専門」
大学入試を想定した読解演習を行う。

[社会]

3年

- ・日本史探究（2単位）「専門」
近代史を中心に学習し近代化が進むなかで日本がどのような変遷を遂げたのか、政治・経済・外交・文化の面から考察し、近代史の流れが理解できるようにする。
大学入試を視野に入れ、演習を行う。

[英語]

2年

- ・総合英語（3単位）「専門」
1年次に修得した内容をより深める。
英単語の発音を意識しながら、語彙力をつける。
学んだことを活かして、文章を理解するとともに、自分の意見を発表できるようにしていく。また、文法項目について学習したことを整理しながら、発展的な文法演習問題にも対応できる力を身に付ける。
- ・英語理解（2単位）「専門」
英語で書かれた文章を、文法や構文に注意しながら、平易なものからやや難易度の高いものへ段階的に、多読、精読、速読する。それらを通して、しっかりとした読解力を身に付け、また題材として用いられていたトピックスに対する理解も深めていく。

・英語総合演習（2単位）

演習問題を中心に、長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に文法的に注意すべき点、構造に注意すべき点、慣用的な表現に注意すべき点等を整理しながら、読解能力を育成する。

3年

・総合英語（4単位）「専門」

1・2年次に学んだことを発展させていく。

問題演習を繰り返すことにより、語彙、文法、構文に対する知識を深め、活用させていく。また、リスニング演習を行いつつ、一方で、聞いた内容を自分でまとめたり、それに対しての自分の意見も言える力を養成する。

・英語理解（2単位）「専門」

入試問題を中心とした英語の長文問題を、限られた時間で読みこなしていけるよう演習する。また、書かれた文章をまとめたり、それに対する自分の意見も述べたりできる応用力も身に付け、英語力を判定するあらゆるテストに対応できる力を身に付ける。

○人文探究コースで学ぶ選択科目に関して

[選択] (すべて2単位)

2年

・現代文演習

現代文の演習を通して、大学入試に対応した語彙力・読解力を養成する。漢字の読み・慣用表現・ことわざ・故事成語などについて理解を深める。また、意見文・感想文などを書く力をつける。

・数学B

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

3年

・国語読解力演習

中堅大学入試に対応する、評論、小説等の文章を取り上げ、深く鑑賞し、読解力と論理的な思考力を養う。現代社会についての理解を深める。

・数学B

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

・数学演習 α

問題演習を通じて、「数学I」「数学A」の学習内容を基礎から確認し、定着を図り、さらに標準的な問題を確実に解ける力を身につける。看護系、工業系の専門学校に進む者、文系で数学I・数学Aを受験科目とする者は選択することが望ましい。

・英語読解演習

演習問題を中心に、長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に文法的に注意すべき点、構造に注意すべき点、慣用的な表現に注意すべき点等を整理しながら、読解能力を育成する。



Ⅱ 一般系とコースの科目説明

④こども保育コース

○子ども保育コースで学ぶ専門科目に関して

2年

- 子どもの発達と保育(5単位) 「専門」 2, 3年
子どもの発達の過程や子どもの健康や食事、遊びの援助などを学ぶことを通じて保育の意義や重要性を学び、子どもの関わり方についての理解を深める。
夏休み等の長期休業を利用した実習実施。(必須)
- ソルフェージュ (2単位) 「専門」 2年
保育士や幼稚園教諭になるには、音楽表現力をつけることは必須である。
この科目では、歌唱、ピアノの基礎技術を学ぶ。また、音楽の基本的な知識を身につけ、楽譜を読む力、音感、リズム感を養う。
- 幼児体育 (2単位) 「専門」 2年
保育士や幼稚園教諭になるには、身体表現力をつけることは必須である。
この科目では、幼児期の身体機能の高め方、また将来指導者になる心構えや指導法を学ぶ。

3年

- 子どもの発達と保育(5単位) 「専門」 2, 3年
子どもの発達の過程や子どもの健康や食事、遊びの援助などを学ぶことを通じて保育の意義や重要性を学び、子どもの関わり方についての理解を深める。
- 保育実習 (2単位) 「専門」 3年
これまで学んだことを活かし、実習を通じて、幼児とのコミュニケーション方法やホスピタリティの精神を身につける。
具体例として、子育て支援センターや幼稚園、保育園等で、音楽・造形・言語表現を主とした活動を行う。

• 文章表現演習（2単位）**「専門」**3年……………担当教科：国語・書道

保育士や幼稚園教諭には、幼児の保護者に連絡帳や掲示板等で子どもの様子や園での取り組みを報告する必要がある。

国語で適切に表現する能力を養い、伝え合う力を身につける。

書道においては平仮名の書き方から初め、読みやすい丁寧な文字の書き方や、連絡帳、掲示物等の書き方を身に付ける。

• 幼児音楽（2単位）**「専門」**3年

ソルフェージュで培った力を活かし、ピアノ、歌唱、ピアノと歌唱の弾き歌い等の技術を身につける。また、音楽の基本的な知識を学び、楽譜を読む力、伴奏の技術を習得する。

○子ども保育コースで学ぶ選択科目に関して

[選択] (すべて2単位)

2年

• **現代文演習**

現代文の演習を通して、基礎的な語彙力・読解力を養成する。漢字の読み・慣用表現・ことわざ・故事成語などについて理解を深める。また、意見文・感想文などを書く力をつける。

• **数学Ⅱ（増単位）**

複素数と方程式、直線・円の方程式、三角関数、指数関数、対数関数など、数学の様々な基本的分野について学習する。この科目を選択することにより、必修の数学Ⅱ（3単位）と合わせて、数学Ⅱの全内容を学習することができる。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

• **英語総合演習**

英語の4技能（読む、書く、聞く、話す）のスキルを総合的に向上させる。

3年

・国語読解力演習

近代以降、現代に至るまでの多様な評論、小説等の文章を取り上げ、深く鑑賞し、読解力と論理的な思考力を養う。現代社会についての理解を深める。

・数学B（数学Ⅱの履修が必要）

「数列」（数の並び）の規則性を発見して、それを数式に表現したり、それらの和を求めたりする方法について学習する。さらに、新しい概念である「ベクトル」について学び、図形の問題や物理量の扱いに応用する。センター試験受験希望者は選択する必要がある。

・数学演習 α

問題演習を通じて、「数学Ⅰ」「数学A」の学習内容を基礎から確認し、定着を図り、さらに標準的な問題を確実に解ける力を身につける。看護系、工業系の専門学校に進む者、文系で数学Ⅰ・数学Aを受験科目とする者は選択することが望ましい。

・英語読解演習

演習問題を中心に、長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に文法的に注意すべき点、構造に注意すべき点、慣用的な表現に注意すべき点等を整理しながら、読解能力を育成する。





1年	組	番	氏名
----	---	---	----